



～季節の花便り～

夏の日差しに負けないパワフルさ **ジニア** が見頃です!

夏のひたち海浜公園を彩る **ヒマワリ**、**ハマゴウ** も咲き始めました!



平成 20 年 8 月 4 日撮影

謹啓 盛夏の候 皆様方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、現在、ひたち海浜公園では**500,000本の「ジニア」が見頃を迎えております**のでご案内いたします。

ジニアは、開花期間が長く、夏の日差しに負けない力強い花姿と、何よりも鮮やかでカラフルな花色が特長です。

本公園では、このような特長のある花を見て夏を乗り切る“元気”を感じていただこうと、昨年から大草原フラワーガーデンに植えています。花畑は、テニスコート9面分とほぼ同じ 6,000 m²もあり、東西に細長く最長部は200mを超えます。隣接するサイクリングコースから自転車に乗っての眺めを楽しめるのは、この場所ならではのウリです。

また、ジニアの他にも、泉の広場では5,000本の**「ミニヒマワリ」**が5分咲きになり、また、砂丘エリアでは**「ハマゴウ」**が咲き始めましたので、併せてご案内いたします。

つきましては、皆様には御多忙中のことと存じますが、取材並びに記事掲載の程よろしく願い申し上げます。 謹言

お問い合わせ先

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼605-4
ひたち公園管理センター企画課 穂積・田中・森下
電話 (029) 265-9005 FAX (029) 265-9339
※お客様問い合わせ電話番号 (029) 265-9001
ホームページ <http://www.hitachikaihin.go.jp>

開花：7月下旬～9月下旬

ジニア

キク科ジニア属一年草

原産地：メキシコ

【ジニア豆知識】

「ジニア」の名は、ドイツ人の植物学者ツイン(J.G.Zinn)に因みます。

和名を「ヒャクニチソウ(百日草)」と言いますが、1つの花が百日間咲き続けるという意味ではなく(1つの花の開花期間は10～15日程度)、同じ株に次々と蕾が付いて花が咲くことから、開花期の長いこと、花持ちのよさを表しています。別名の「チョウキウソウ(長久草)」、「ウラシマソウ(浦島草)」も同様です。

【ひたち海浜公園のジニア】

本公園では、赤・桃・橙・黄・白など花色が鮮やかで多彩なこと、1つ1つの花にボリュームがあること、また、真夏でも暑さに負けず生育し、開花し続けるため花持ちがよく、長い期間楽しんでいただけることから、昨年の夏より新たに導入しました。

大観覧車の北東側に広がる大草原フラワーガーデン 6,000 m² に 50 万本のジニアが植えられています。



■ おすすめの鑑賞方法

歩いて楽しむ

花畑の中には、散歩できる小道があります。ゆっくりと歩きながら大観覧車を背景に写真を撮ったり、立ち止まって花の間近にしゃがみ、下から眺めて青空とのコントラストを鑑賞するなど、さまざまな楽しみ方があります。



自転車からの眺め

大草原フラワーガーデンは、サイクリングコース沿いにあります。カラフルでポップな色とりどりの花畑を、自転車に乗ってお楽しみいただくのもおすすめです。



■ トピックス ～ジニアとともに楽しむ葉～

今年新たに、カラフルなジニアの花をより鮮やかに引き立てる「ユーフォルビア」をジニアの周囲に植栽しました。白い縁取りのある葉を楽しむ、涼しげな印象の植物です。

※ユーフォルビア【和名：初雪草】

トウダイグサ科ユーフォルビア属一年草
緑の葉の縁に白い覆輪が入った、葉色のコントラストが美しい植物です。
夏に小さな白い花を咲かせます。



平成 20 年 8 月 1 日撮影

【現在お楽しみいただけるその他の草花】

ミニヒマワリ

開花：7月下旬～8月下旬

ピノチオゴールド

キク科ヒマワリ属一年草

原産地：北アメリカ

【ミニヒマワリピノチオゴールドとは】

ミニヒマワリの品種「ピノチオゴールド」は、草丈 80cm ほどの背丈の低い一重咲き種。一般的にヒマワリは一株に1つの花を付けますが、この品種は多くの分岐を出し、主枝と側枝の両方に花を付けます。このため、株数よりも多くの花をお楽しみいただくことができます。

【ひたち海浜公園のミニヒマワリピノチオゴールド】

南口から程近い「泉の広場」の花畑 900 m²に、5,000 本を植えています。

コンパクトながらも、太陽の光をいっぱい浴びて沢山の花を付け、広場を見事に彩る様をお楽しみ下さい。



平成 20 年 8 月 2 日撮影

開花：8月上旬～9月中旬

ハマゴウ

クマツヅラ科ハマゴウ属の落葉低木

原産地：東アジア～豪州

【ハマゴウとは】

本州・四国・九州・沖縄の比較的暖かく日当たりの良い海岸の砂地に自生する落葉低木。砂の堆積に応じて太く発達した地下茎を伸ばして分岐し、枝は地表を這うように伸び上がります。

葉裏はビロードのような白く細かい毛で覆われており、高温や乾燥など砂丘の厳しい環境から葉を守っています。

【名前の由来】

7～9月、枝の先に青紫色の花を多数つけ、秋には球形の淡黒色をした実になります。

学名は *Vitex rotundifolia* といい、「*Vitex*」はハマゴウ類の枝でかごを編んだことから「vieo(結ぶの意)」に由来し、「*rotundifolia*」は「円形の葉」を意味しています。

また、和名の「ハマゴウ(浜栲)」は、一説に、浜辺に生育する植物で枝葉が持つ芳香から「浜香」が転じてこの名が付いたと言われています。

【ひたち海浜公園のハマゴウ】

青紫色の花と、白い密毛で覆われた明るい葉色のコントラストが涼しげなハマゴウは、砂丘ガーデンを中心に、園内各所で開花しています。



平成 20 年 8 月 1 日撮影

■ トピックス ～人々の生活に溶け込んだ植物～

乾燥させたハマゴウの果実は、鎮痛、鎮静、消炎効果などがあり、「マンケイシ(蔓荊子)」と呼ばれる生薬として漢方薬に配合されます。また、ハマゴウは植物全体に芳香があるため、枝葉を線香に用いるほか、特に香りの強い実を枕に入れるなど、生活の中のさまざまな場面で利用されています。

